

新理事としての就任挨拶

理事長に就任して

理事長 郷 肥三 (福-9期)



会員の皆さん、日頃はボランティア活動に精を出してくださいまして誠にありがとうございます。

私はグループ わ に入りまして2年目を迎え、5月18日の総会で理事長に選ばれて、早や2ヶ月が過ぎようとしています。皆さんの努力のおかげで、いま神戸市内ではグループ わ が少しずつ認知されてきました。人と人のかかわりを大切にして、市民の皆さんから感謝されるNPO法人になりたいものです。シルバーカレッジの建学精神にもあるように“再び学んで他のために”を会員の皆さんと共に行動に移して行きたいと思っています。

理事長の行動指針として次の3つのことを選びました。「誠実、信頼、思いやり」のころを持って常に事に当ることです。熟年はどこにも品格が必要です。品格がにじみ出るには人間の質的なものがそなわっていないといけない。

縁の下の支えとして

副理事長 井上 堅 (福-8期)



グループわがNPO法人化して3年目。少子高齢化・国際化社会の中にあって、地域に目を向け、地域と連携して活動する組織わが目立っています。

最近の社会構造、ライフスタイルの変化に伴って、福祉ニーズの多様化がすすみ、わの活動も「持てる力を出し合う仕組みづくり」が重要になってきました。皆さんの豊かな知識、技能、経験を活かせる場を拓けるよう努力する所存です。

「できる者ができることを、他のために」をモットーにわの活動に加わって3年目になりました。気負わず、縁の下の支えとして頑張りたいと思います。よろしくご協力をお願いします。

偽りのない誠実な人格を身につけて常にそのころを持って行動できるようにする。初めてお逢いした人にも第一印象でなんとなく信頼関係が築けるように行動する。これはボランティアの必要条件であると考えます。

皆さんがグループ わ の会員としてボランティア活動をされる場合、例えおひとりでもグループ わ を代表しているという誇りを持って行動して頂きたいと思います。そうすることによって、信頼されるグループ わ を育てていきましょう。

平成18年度の本部関係イベントは約40件を数える程になります。(財)長寿社会開発センターからの助成金が内定しました。

また、10月1日からのじぎく兵庫国体、そのあとに続いてのじぎく兵庫大会(第6回全国障害者スポーツ大会)が10月14日~16日まで開催され、地下鉄の総合運動公園駅前にてふれあい広場が設営されます。グループ わ としてもあそびコーナーを含めてボランティア活動を多くの会員の皆さんに予定して頂いています。

皆さんが互いに支えあって今後とも元気で生き甲斐のある活動をしようではありませんか。

グループ わ 3年目を迎えて

副理事長 小林 将悟(生-8期)



グループ わ に入ってから早くも3年目を迎えた。わの仕事の奥行きが深いことが少しずつ判ってきたように思う。この間私たちを取り巻く、環境も動かし難いトレンドである「少子高齢化」の足取りが確実にその歩を進めてきている。自分自身もその中の一人ではあるが、バス、地下鉄などの乗り物に高齢者の増加をひしひしと感じる。

社会全体としてシニアパワーを生かして如何に豊かな社会を形成して行くかは、大変大きく重い課題である。高齢者側から望まれることは、高齢者自身、社会の役にそれなりに立っていると言う手ごたえをしっかりと感じることであろう。

それが張り合い、やりがいにつながり、新たなエネルギーを生む。このことを念頭におきそれが張り合いで、3年目に取り組みたいと思う。

活動の根底は人間尊重

理事 中沢 保夫(音-9期)



「人間尊重」ということばをあらためて思います。目線を相手の立場に合わせて考えながら共に楽しい日々を送る。根底には

自分をはじめ、周りの人たちや日本人、ひいては世界のため、自分たちは何を求め、何をすればよいかという、人として大切なことがこの四文字にひめられていると思います。

グループ わ で理事として二年目を迎え、引き続き「子どもたちの学習支援活動」を担当することになりました。多くの支援者の皆さまに、これからも楽しく生き甲斐を感じながら活動され、小学校の子どもさんや先生方のお役に立っていただけるように努めていきたいと考えています。

“わ”はKCSの大学院

理事 東本 敦子(福-9期)



私が事務局のお世話始めて2年目にはいりました。昨年は、グループ わ とは、どのような活動をしているのかを見て

何とか吸収しようとするだけで精一杯だったような気がします。活動を通じて先輩はじめ皆さんに親しくしていただき、大変勉強になった一年でした。わはシルバーの大学院の感じで、カレッジで教わったことを実践しているみたいです。この1年は、皆様とともに各種イベントや、ボランティア活動に積極的に参加して行きたいとおもいます。

和をモットーに

理事 上田 市夫(生-10期)



KSCでは環境問題の奥の深さを学んだ3年間でしたが、卒業後は趣味の菜園にいそむことを楽しみにしていた矢先に、図らずも

わのサポートを (次頁に続く)